



なす からすやま

No.137

Public Relations Magazine of Nasukarasuyama City



2017
February
2

新春の2大イベント盛大に.....	2
確定申告が始まります.....	7
地方創生に向けて.....	8
中学校で選挙の模擬投票体験.....	10
まちのわだい.....	12
インフォメーション.....	14
シリーズ 烏山高校ってこんなところ! ...	16

成人迎えました!(1月8日、平成29年那須烏山市成人式)



第11回

那須烏山市駅伝競走大会



号砲の合図で一斉にスタートする1区小学生選手。

新春の2大イベント盛大に。

2017年新春を迎えた本市では、恒例のイベント「那須烏山市駅伝競走大会」と「那須烏山市成人式」が行われました。

毎年、白熱した戦いが繰り広げられる駅伝競走大会では、14チーム140人が那須烏山路で健脚を競い合いました。また、成人式では、華やかな着物や紋付き袴、真新しいスーツに身を包んだ新成人たちが大人への第一歩を踏み出しました。

今月の広報なすからすやまでは、その様子を紹介します。



那須烏山市成人式

平成29年



新成人集う。

駅伝競走大会

中央北Aが2年ぶりに返り咲き優勝 連覇を狙う鴻野山Aは準優勝に

1月15日(日)、第11回那須烏山市駅伝競走大会が、烏山運動公園から保健福祉センターまでの10区23・3kmで開催されました。今年は、14チームが出場し、2年ぶりに「中央北A」が優勝しました。開会式では、各チームの選手が大勢集まる中、主催者代表として、市体育協会の松本武会長が、「大寒波に見舞われ、寒い日となった。ウォーミングアップをよくして大会に臨んでほしい」とあいさつ。大谷範雄市長は、「那須烏山路を楽しみながら走ってもらいたい。各チームの健闘を祈る」と激励の言葉を送りました。その後、選手を代表して「鴻野山A」の湯家谷怜央選手と「鴻野

山B」の伴伊純選手が、力強く選手宣誓を行いました。

そして、午前10時、大谷市長による号砲を合図に14人の小学生選手が烏山運動公園を一齐にスタートしました。第1中継所に一番で飛び込んだのは、「境体協」の河原蒼選手。続いて、「藤田」の牧田佑介選手、「志鳥」の滝口悠央政選手の順で、2区の選手にタスキがつなぐられました。今回、優勝を果たした「中央北A」は、13位と多少出遅れたものの、この時点で各チームとも差はほとんどなく、その後、柳田尚皓選手、猪野卓也選手、今井孔明選手、北條友哉選手、久保居悟選手が区間トップの力走

●大会結果

①中央北A	1時間23分57秒
②鴻野山A	1時間25分03秒
③山あげA	1時間28分13秒
④藤田	1時間29分04秒
⑤ハケ代	1時間29分32秒
⑥七合	1時間30分24秒
⑦境体協	1時間30分30秒
⑧体協向田支部	1時間30分58秒
⑨那須烏山市役所	1時間31分58秒
⑩志鳥	1時間33分25秒
⑪南那須消防	1時間33分29秒
⑫鴻野山B	1時間38分01秒
⑬山あげB	1時間41分24秒
○中央北B(オープン参加)	1時間30分38秒

を見せ、2位の「鴻野山A」に1分6秒の差をつける1時間23分57秒の好タイムで優勝しました。10区中5区間で区間賞という圧巻の走りを見せた「中央北A」の田中信幸監督は、「昨年、3連覇がかかってきたが、準優勝と悔しい思いをした。練習を重ねてきた成果を発揮できて嬉しい」と話していました。また、同チームのコーチ、そして、選手としても活躍をした柳田尚皓さんは、「チーム全員が、優勝したいという意識が高かった。一生懸命に取り組めば結果がでることを再認識できた」とコメント。同じく、吉葉拓也さんは、「チーム一丸となって戦えたことが嬉しい。アンカーとして走れたことも良い思い出」と優勝の喜びを語ってくれました。



上:8区から9区女性区間へタスキ渡し。
下:沿道から選手にエールを送る見物人たち。



1番にゴールテープを切る中央北A。

①4区から5区の選手へ ②続々とタスキが繋がれた第1中継所 ③先頭を追う鴻野山Aチーム ④8区女性区間では2チームがタスキをつなげられず繰り上げスタートに ⑤3区鳥山大橋を走り抜ける選手たち ⑥大勢の声援の中ゴールするハケ代チーム ⑦区間トップの選手に大谷市長から区間賞の盾が手渡される ⑧優勝を果たした中央北のチームの皆さん。



めまぐるしい順位争い 各区間で好レース繰り広げられる

2位以下でも、各区間で好レースとなり、めまぐるしい順位争いが繰り広げられました。

その中で、準優勝の「鴻野山A」は、6位でスタートしたものの、2区ではトップに。その後、2位、3位と順位を入れ替えながらも、8区の斉藤史也選手、10区の豊岡駿介選手が区間賞の安定した走りを見せ、2位で

ゴールしました。あとを追う「山あげA」は、9位でスタートしましたが、7区では5位にまで順位を上げ、8区で3位につけるとそのまま逃げ切りました。

そして、今回、4区では、「七倉の石川佳樹選手が、昨年自ら叩き出した区間新記録を21秒縮め、新たな記録を更新しました。

なお、「中央北B」は、選手の編成が出場制限を超えたためオープン参加となりました。

●区間賞

1区(1.2km)	河原 蒼(境体協)	4分02秒
2区(2.1km)	柳田 尚皓(中央北A)	6分36秒
3区(2.4km)	猪野 卓也(中央北A)	8分29秒
4区(3.0km)	石川 佳樹(七倉)	新9分08秒
5区(2.8km)	今井 孔明(中央北A)	9分50秒
6区(2.6km)	北條 友哉(中央北A)	9分10秒
7区(2.2km)	久保居 悟(中央北A)	8分30秒
8区(2.7km)	斉藤 史也(鴻野山A)	9分24秒
9区(1.5km)	川俣日奈子(南那須消防)	5分28秒
10区(2.8km)	豊岡 駿介(鴻野山A)	9分41秒

※敬称略、()内は区間距離、チーム名



①記念写真を撮影する新成人たち ②大人への決意を発表した新成人代表の久保田さん ③式典で市民の歌を斉唱
④⑤友人との再会に笑顔を見せる ⑥205人が参加した式典。

大人になった自覚と決意を胸に 264人が新たな一歩踏み出す

1月9日(祝)の「成人の日」を前に、風月カントリー倶楽部を会場に8日(日)、「平成29年那須烏山市成人式」が開かれました。

成人式には、264人の対象者のうち約8割に当たる205人が式典に出席。あてやかな晴れ着や紋付き袴、真新しいスーツに身を包み、大人への第一歩を踏み出した新成人たちは、恩師や市関係者など多くの来賓

から祝福を受けました。



午前10時、新成人代表の笹川杏奈さん(中央2丁目)による開式の言葉で式典が開会。大谷範雄市長が新成人に向け、「今日の成人式を機に那須烏山市を見つめ直す機会にし、成人を迎えた皆さんが、今後の地域社会、さらには日本の発展に貢献されることを期待したい」などあいさつ。その後、新成人を代表して、久保田真さん(城東)が、「学生や社会人など立場は様々ですが、自分の行動に責任を持ち、社会の一員としてベストを尽くしたい」と新成人としての決意を述べました。

また、式典の中では、記念事業として、今年新たに、事前に募集した新成人へのメッセージ映像を上映。新成人の家族や先輩、恩師から寄せられたメッセージやビデオレターに、会場は沸き立ちました。さらに、地区ごとに記念写真を撮影し、式は終了しました。

その後も会場や駐車場周辺には、懐かしい級友との再会を喜び合い、写真撮影をしたり、近況報告をしたりする新成人の姿が見られました。



意外と知らない?! “成人式の歴史”

冠婚葬祭の「冠」は成人式を意味することをご存知ですか。昔、男子の成人を示すものとして行われていた儀式「元服」で、「冠を付ける」(かぶる)ことに由来したものです。

今日の成人式のルーツは、終戦間もない1946年11月22日、埼玉県蕨町(現・蕨市)で行われた「青年祭」です。敗戦による虚脱状態の中で、次代を担う若者たちを励まし、

希望を持たせようと、地元の青年団が企画しました。これがやがて全国へ広がり、影響を受けた国は48年に施行された国民の祝日に関する法律で翌年から1月15日を成人の日に制定し、98年の国民の祝日に関する法律の一部を改正する法律(通称:ハッピーマンデー法)に伴い、2000年から成人の日は1月第2月曜日になりました。



平成29年成人式
 わたしたちも大人の仲間入り♡ /



今年の新成人が生まれた1996年～1997年の出来事

◆Webサイト「Yahoo! JAPAN」誕生 ◆米国・アトランタオリンピック開催。日本のメダル数は、金3個、銀6個、銅5個を獲得 ◆任天堂のゲームソフト「ポケットモンスター赤・緑」、バンダイの携帯型育成ゲーム「たまごっち」が大流行。顔や姿を撮影してシールに印刷する「プリント倶楽部(プリクラ)」ブームも本格化 ◆「病原性大腸菌O157」による集団食中毒。これらの問題から96年の世相を現す「今年の漢字」は「食」に ◆島根県隠岐島沖でロシア船籍のタンカー「ナホトカ号」が遭難。大量の重油が流出し、日本海沿岸の広範囲に広がる ◆自民党、社会党、新党さきがけの3党連立による村山富市内閣が退陣し、橋本龍太郎首相が誕生

◇旧烏山町、旧南那須町では…
 (旧烏山町) 龍門ふるさと民芸館「鳴龍」完成、長峰ビジターセンターオープン、「やまびこの湯からすやま」オープン、清水川せせらぎ公園オープン、国道294号烏山バイパス開通。
 (旧南那須町) 南那須町と烏山町の農協が合併し那須南農協発足、南那須町ホームページを開設、八溝グリーンライン全線開通、緑地運動公園完成。

※一部抜粋



会場で撮影した
スナップ写真をお楽しみください。



● 税務課からのお知らせ

確定申告がはじまります

市では、平成28年分の所得税確定申告及び住民税申告を受付します。

日程などは、1月10日(木)に行政區長経由で配布した「確定申告についてのお知らせ」や市ホームページ等をご覧ください。

詳しくは、税務課 ☎0287-183-1114までお問い合わせください。

確定申告受付

○日時：2月16日(木)～3月15日(木)

○受付：午前8時30分～11時

午後1時～5時15分

○場所：烏山庁舎2階第4・5会議室

※待合室は、第2会議室

● 社会保障・税番号(マイナンバー)制度の導入

平成28年分以降の所得税、復興所得税及び贈与税の申告書の提出の際には、社会保障・税番号(マイナンバー)の記載が必要です。あわせて本人確認書類の提示又は写しの添付が必要となります。

《本人確認できる書類の例》

- ・例1…個人番号カード(番号確認と身元確認)
- ・例2…通知カード(番号確認)+運転免許証や健康保険の被保険者証など(身元確認)

● 申告書の作成は国税庁ホームページ

の「確定申告書作成コーナー」で確定申告期間中の確定申告会場は大変混雑し、長時間お待ちいただくこと

となります。

国税庁ホームページの「確定申告書作成コーナー」の画面の案内に従って金額等を入力すれば、税額などが自動計算され、所得税及び復興特別所得税の確定申告書が作成できます。作成した申告書をご自宅のプリンタで印刷すれば、確定申告会場に行かなくても、

郵送等で提出することができます。 ※自宅にプリンタがない場合でも、PDFファイルで保存すればコンビニ等で出力可能です。

詳しくは、国税庁ホームページの確定申告特集ページをご確認ください。
<http://www.nta.go.jp/tetsuzuki/>
<http://shinkoku/shotoku/tokushu/>

シリーズ 市の文化財 第70回

栃木県指定有形文化財(工芸品)

たち くりはら あきひでさく
太刀 栗原昭秀作(個人)



栗原昭秀は、明治12年(1879)安蘇郡田沼町(現:佐野市)に生まれました。幼少より田中正造の知遇を受け、衆議院議員を3期務め、政界引退の後は東京の自宅に日本刀伝習所を設立し、日本刀の復興、刀匠の育成に尽力した刀剣界の功労者です。

この作品は、鎌倉時代の太刀を模倣して作刀したもので、目くぎ穴1個、鑄造、腰反りで姿も良く、鍛えは板目に柂まじり、刀文は直刃に小乱れを交えており、現代刀匠の祖と称された栗原氏に相応しい優れた太刀です。

JR烏山線沿線まちづくり推進協議会を設立

地方創生に向けて、JR烏山線沿線の本市と高根沢町の連携を強化するため、「JR烏山線沿線まちづくり推進協議会」の設立総会が1月11日(木)に市役所烏山庁舎で開かれました。



協議会を設立。(左から、佐々木JR東日本大宮支社総務部長、加藤町長、大谷市長、黒本栃木銀行頭取)

人口交流増でにぎわいを創出

創生推進交付金事業となった「JR烏山線沿線まちづくり推進事業」七福神プロジェクトを具体的に進める組織として両市町、栃木銀行、JR東日本で構成するもの。両市町がJR烏山線や県道宇都宮烏山線などで生活圏が重なっていることや、栃木銀行と包括連携を締結していることから、栃木銀行とJR東日本の支援で実現しました。

設立総会当日には、大谷範雄市長、加藤公博町長、黒本淳之介栃木銀行頭取、佐々木敬介JR東日本大宮支社総務部長をはじめとし、関係者約30人が出席。関係4者が地域資源の創出やJR烏山線を核とした交流人口増加などの事業を決定したほか、会長には大谷市長、副会長に加藤町長、監事に黒本栃木銀行頭取

が選出されました。

具体的な事業としては、①烏山高校や高根沢高校、民間企業と連携し、地域資源を生かしたモニターツアーの実施②両市町でマルシェの開催③ローカルブランド力の向上に向けた新商品の開発④JR烏山線の利用向上のため地域資源を組み合わせたプロモーション活動などを進めることとしています。

協議会では、平成30年までに両市町で約23万人の観光客増と休日滞在人口を約90000人増、1日の烏山線(宝積寺～烏山駅間)の乗車人数を28人増を目標としています。

大谷市長は、「烏山線と地域の魅力の双方を引き出し、高め合い、地域一体となって磨き上げていきたい」とあいさつしました。

市とJAなす南 専門部会を設置 連携事項の具体策提案に向けて

市とJAなす南では、昨年8月に締結した「地方創生推進並びに地域社会経済の継続的發展に関する包括連携協定」の連携事項の具体策を検討するため、12月26日(月)、JAなす南本店で「那須

地方創生への取り組みを推進していくことが連携事項として盛り込まれています。また、同協定は、市が進める「市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を後押しするものとしても重要視されている

の提供と地域経済活性化への貢献に関するものを検討します。両部会とも市とJA関係部課の幹部が委員となり、2、3ヶ月に一回会議を開き、具体策を提案することとしています。

なすから 英語塾 イングリッシュカフェ初開催

市民向け英会話教室「なすから英語塾」では、受講生以外にも



会話を楽しむ参加者。

気軽に英語に親しんでもらおうと、12月8日(木)、17日(水)、18日(木)の3日間で「イングリッシュカフェ」を開き24人が参加しました。

当日は、同塾の外国語指導員ステイブ・ブーンさんと、小・中学校の代理ALTを担当しているエコー・シュナン・ユースを中心し、参加者は英会話を楽しみました。母親と2人で参加したという烏山小5年の大澤彩季さん(南1丁目)は、「英語は難しかったけれど、少し分かるところがあって楽しかった」と話していました。

賀詞交歓会で明るい年を願う

市、商工会、JAなす南による恒例の「賀詞交歓会」が、1月6日(金)、風月カントリー倶楽部で開かれ、行政関係者や各種団体、企業の代表者など120人が参加しました。交歓会では、鏡開きなどが行われ、明るい年となるように願いました。また、主催者を代表して大谷範雄市長は、「農商工学官民が連携したまちづくりや、教育・福祉など充実した年となるようにしたい」とあいさつしました。



代表者によって行われた鏡開き。

地方創生に向け

烏山市と那須南農業協同組合との包括連携協定に基づく専門部会設置式及び第1回専門部会会議が開かれ、大谷範雄市長やJAなす南山田清組合長のほか、関係者27人が出席しました。

協定では、「農業生産振興及び農業者の所得増大に関すること」「地域住民に必要なサービスの提供による地域社会経済の持続的発展に関すること」などの4項目について連携・協力の

ることから、連携事項の具体策を検討し、実現することを目的とした専門部会が設置されました。

設置された専門部会は、「農業振興専門部会」と「生活環境専門部会」の2つ。両部会とも地方創生の支援を行い、農業振興専門部会は市内の農業生産振興や農業者の所得増大に関することを推進します。生活環境専門部会は、地域住民に必要なサービス



専門部会設立に向けた発足式。

寒ざらしそばの仕込みを開始

八溝そば街道推進協議会では、1月6日(金)、日光市の白滝で「寒ざらしそば」約3.4トンの仕込みが関係者約20人によって行われました。



小雪が舞う中、滝つぼで引き上げ作業をする関係者。

この作業は、秋に収穫したそばの実を冷水にさらし、甘みや風味を引き出すために、例年、厳寒のこの時期に行われるもの。約1週間後の12日(木)には、引き上げ作業が行われ、天日と寒風にさらし、寒ざらしそばの実が完成しました。

今回の寒ざらしそばは、夏までゆっくり熟成させ、8月頃に八溝そば街道参加店舗で提供を予定しています。

那須烏山 ジオパーク構想 講演会「ジオパークってなあに？」

市教育委員会では、12月18日(日)、南那須公民館で「那須烏山ジオパーク構想講演会」を開催し、中学生や高校生を含む地域住民など14人が参加しました。

この講演会は、那須烏山ジオパークの認定、設立に向けて今年度初めて開催しました。当日は、ユネスコ

世界ジオパーク現地審査員で徳山大学准教授の袖洞一央さんを講師として招き、「ジオパークってなあに？」をテーマに、世界遺産との違いや日本ジオパークの認定審査での審査内容、「Mine 秋吉台ジオパーク」や「室戸ジオパーク」が認定されるまでの取り組み事例が紹介されたほか、那須烏山ジオパーク構

想の課題などが話し合われました。ジオパークは、地域を良く知り、地域を良くしていくための道具で、地域の協力、参加している姿が評価されていくものです。市教育委員会では、ジオパークを教育や観光などにどう生かしていくか考えてい

川井地区自治会で合同防災訓練 非常時に備え地域の連携深める

くために、今後もこのような講演会を開催していく予定です。

下川井上、下川井下、上川井自治会で構成される川井地区自治会で、12月18日(日)、非常時に備え地域の連携を深めるために、初めて「合同防災訓練」が江川小学校のグラウンドや体育館で開かれ、地域住民など229人が参加しました。

当日は、災害が発生したことを想定し、地元消防団により避難

を促す広報活動や、江川小学校では避難所の準備などが行われました。その後、避難をしてきた地域住民らは、那須烏山消防署の署員の指導で、消火訓練や煙体験、AED(自動体外式除細動器)訓練が行われたほか、JA女性会の協力で、炊き出し訓練が行われ、「けんちん汁」などが約150人

分用意され、振る舞われました。



消火訓練を体験する地域住民。



他県の取り組みなどが紹介された講演会。

選挙をより身近に

中学校で選挙の模擬投票体験

市選挙管理委員会では、選挙権年齢が18歳に引き下げられたことにより、若いうちから選挙に関心を持つてもらおうと、1月20日(金)に南那須中学校で、中学生にとって身近な生徒会選挙の場を利用し、出前講座として選挙の模擬投票を行いました。

当日は、市選挙管理委員会により、選挙のルールや投票上の注意などを説明。そして、生徒会長や副会長の立候補者による演説が行われた後、記載台や投票箱など実際に選挙で使われている道具を使い、生徒による投票が行われました。

同校2年の大森紗亜弥さん高



上…記載台や投票箱を使って行われた生徒会選挙／下…選挙のルールなどを説明する選挙管理委員会職員と選挙キャラクターめいすくん。



瀬は、「18歳になる前に体験ができて良かった。自分の票で結果が左右されるといふことに重大さを感じた」と話していました。

また、12月15日(水)には烏山中学校の生徒会選挙、12月20日(火)には、南那須特別支援学校でも来年度選挙権を得る2年生を対象とした出前講座を行い、模擬投票を通して選挙への理解を深めました。

市選挙管理委員会では、生徒が有権者となったときに選挙に参加しやすい環境を作っていくために、今後も高等学校や中学校などと連携し、主権者教育を継続的に行っていくこととしています。

JR烏山線に

風っこストーブ号が

やってきた！



上：乗車記念の写真撮影が行われる車内／下：好評を博したレトロな雰囲気のだるまストーブ。

レトロなだるまストーブが大好評

JR烏山線では初めての運行となる石炭ストーブを活用した臨時列車「風っこストーブ烏山号」が、1月8日(日)宝積寺駅から烏山駅間を1往復運行し、大勢の家族連れや鉄道ファンが乗車しました。

この風っこストーブ号は、毎年夏頃にやってくる風っこ号とは異なり、石炭で燃やすレトロ感漂う「だるまストーブ」が活用されているのが特徴です。また、ストーブ上の網で乗客が持ち寄った「もち」や「するめ」、「ポップコーン」などを焼くのも楽しみの一つ。大勢の乗客がストーブで暖をとりながら、

のどかな田園風景の旅を楽しみました。さらに、乗客特典として、観光案内などのパンフレットや地元銘酒の酒粕が入った「酒かすチーザルト」が配布されました。

終点の烏山駅の駅前イベント広場では、乗客をもてなそうと、観光案内のほか、特産品や地元産のいちごを使った「いちご大福」などが販売され、好評を博しました。

埼玉県から夫婦で訪れたという櫻井寛さんは、「風っこストーブ号を利用して那須烏山市を訪れることができて嬉しい。景色も良くまた訪れたいと思う」と話していました。



ジュニア知事さんに境小6年の小澤龍稀さん

伝統文化を残すために「伝統文化の日」を提案

境小学校6年の小澤龍稀さん（小末須）が、県内の小学4～6年生を対象に「もし私が知事に



ジュニア知事に選ばれた小澤さん。

なったらこんなことをしてみたい」をテーマに作文を募集した今年度の「ジュニア知事さん」に選ばれ、知事賞を受賞しました。応募総数1978点の中から、15人が選ばれ、12月8日㈫に宇都宮市の県公館で行われた表彰式では、福田富一知事から、県産のヒノキ材を使った木製の賞状が手渡されました。

「I believe in the power of Language」は、2年生の時に市の海外派遣事業で米国メノモニー市に訪れたときに感じた社会問題がテーマ。人種によって肌の色が異なることなどから引き起こる移民排除などの考えに疑問を持ち、こういった考えをなくし、受け入れるためにはどうすればいいかなどを訴えかけました。

烏山中3年の内藤舞子さん 県中学生英語スピーチで最優秀賞

第26回県中学校英語スピーチコンテスト（下野新聞社等主催）が11月10日㈫に、栃木市の栃木文化会館で開かれ、烏山中学校3年の内藤舞子さん（中央1丁目）が、第1部3年生の部で最優秀賞に輝きました。

当日は、県内9地区の予選を勝ち抜いた94人が出場し、学年別の第1部と帰国子女対象の第2部に分かれてスピーチの内容や表現力を競い合いました。内藤さんが発表したスピーチ

「I believe in the power of Language」は、2年生の時に市の海外派遣事業で米国メノモニー市に訪れたときに感じた社会問題がテーマ。人種によって肌の色が異なることなどから引き起こる移民排除などの考えに疑問を持ち、こういった考えをなくし、受け入れるためにはどうすればいいかなどを訴えかけました。内藤さんは、「1年生の頃から毎年、県大会で悔しい思いをしていたので、今回の最優秀賞は



最優秀賞を受賞した内藤さん。

地域のスポーツ推進に30年間尽力

志鳥の木下悦男さんに感謝状

市スポーツ推進委員の木下悦男さん（志鳥）が、15期30年にかけて地域のスポーツ推進に尽力され、平成28年度全国スポーツ推進委員功労者として、公益社団法人全国スポーツ推進委員連合より感謝状が贈られました。今回、栃木県内では、9人が受賞となりました。



感謝状を受け取った木下さん。

木下さんは、昭和62年に旧南那須町で現在のスポーツ推進委員の前身となる体育指導員として委嘱され、平成26年4月からは、副会長となり、活躍されています。活動としては、市の駅伝や馬拉ソン大会、市民運動会など各種イベントの企画・運営のほか、誰でも楽しめるニユースポーツの普及などがあります。過去には、現在ではお馴染みの「スーパークックベースボール」の公式ルールを作り、全国に発信するなど、スポーツの発展に貢献されました。

木下さんは、「これからもニユースポーツを普及し、地域のために活動していきたい」と話していました。

受賞

おめでとうございます！



七合診療所・本間医師が「病気になるらない暮らし辞典」出版 自然に沿った暮らしの提案に話題集まる

七合診療所所長の本間真二郎医師が、健康に生きるための実践例をまとめた初の著書「病気になるらない暮らし辞典」が、今、話題を集めています。



自然に沿った暮らしを提案する本間さん。

本間さんは、札幌医科大学や米国でノロウイルスなどのウイルス学を研究し、小児科医としても勤務をしていました。7年前に本市に移住し、同診療所の所長に就任。自然派医師として知られ、地域医療を支える一人です。

2001年9月11日の米同時多発テロをきっかけに、世の中の常識を疑うようになったことで、対症療法中心の西洋医学に疑問を抱き、自ら治ろうとする「自然治癒力」に関心をもち、「食」と「農」に注目をしたといいます。本市に移住してからは、診療

に当たる一方で、同診療所敷地の内家庭菜園で麦や大豆、野菜などを有機栽培し、自宅では納豆や味噌、しょうゆなど発酵食品もつくり、自ら自然に沿った生活を実践しています。

この辞典では、そこから発見した「自然から外れた生活」が病気の最大原因とし、食事や農業、腸内細菌など微生物の働きの大切さを紹介しています。

本間さんは、「自分の生活を見つめ直し、できる範囲で実践することが大切」と話していました。

地域の味覚を堪能！ 猿久保田んぼ公園保全交流会

12月17日(土)、猿久保田んぼ公園の保全管理に取り組む荒川南部土地改良区(久郷浩理事長)では、10年以上続く恒例行事となつている「猿久保田んぼ公園保全交流会」を小嶋公民館で開きました。

当日は、早朝から集まった同保全会委員などが猿久保田んぼ公園内で収穫した「もち米」を使って「もちつき」を行いました。

一緒に参加した子どもたちも大人に教わりながら「もちつき」を体験。重い杵を懸命に振り上げる姿が見られました。

その後行われた交流会では、つきたての餅や、地元で採れた野菜をふんだんに使った豚汁などが振る舞われ、集まった地域住民約30人は、地域の味覚を堪能しながら交流を深めました。



もちつきを体験する子どもたち。

▶応援がんばるよ！(駅伝大会より)。
▼カメラマンにも笑顔(成人式より)。



まちのわだい

◇「広報なすからすやま」では、みなさんからの楽しい話題を募集しています。地域の行事や変わった出来事などをお知らせください。可能な限り取材に伺います。

総合政策課広報統計グループ ☎0287-83-1112

JR烏山線の駅前を華やかに 子どもたちがパンジーの鉢植え製作

災害ボランティアチーム龍丁IN(小堀恵美子代表)のメンバーが中心となり組織する烏山線桜並木実行委員会では、1月5日(木)、荒川放課後児童クラブを利用する子どもたち23人とともに、JR烏山線3駅に飾るパンジーの鉢植え作りを行いました。

これは、烏山線沿線の景観美化や、体験をおして子どもたちの郷土愛を育もうと行っているもので、今年で3回目となりました。



鉢植え作りをする児童。

地域人材づくり プロジェクト 世界に通用する那須烏山を考える

NPPO法人那珂川流域悠遊会（荒井丈夫代表理事）では、11月から12月にかけて6回にわたり、市民カフェ35番館を会場に、地域人材作りプロジェクト「世界・日本シティ那須烏山」が開かれ、



講義をする神長さん。

延べ140人の地域住民が参加しました。

このプロジェクトは、元オマーン・ネパール大使の神長善次さんを講師に、西欧やアジア、アメリカなどの諸外国の文化、産業などを学び、諸外国から見た日本、さらに日本から見た本市を比較し検討することにより、本市の持ち味を世界に通用させるためには、どのようなイメージづくりが大切かを考えるために開かれたものです。

最終回となった12月25日(日)には、「シティ那須烏山、8%の前進」と題した講義が行われ、これまでの講義で学んだ他国の特性

なすから恋活パーティー 3組のカップルが成立

市結婚相談所(高田博所長)では、12月18日(日)、宇都宮市の結婚式場「ヴィラ・デ・マリアーージュ宇都宮」を会場に、「なすから恋活パーティー」を開きました。パーティーには、男女20人が参加し、デザートビュッフェを楽しみながら交流を深めました。

この事業は、若者同士の出会いを支援しようと企画・運営を(株)ちぎテレビに委託して行われたもので、今回で2回目となります。

カップルとして成立した3組には、「南那須観光いちご園のいちご狩りペアチケット」や「和紙の里での和紙手すき体験券」など本市にちなんだ7つの特典が贈られました。

などを踏まえ、本市が世界に通用するイメージや前進するための経済、社会、教育の方向性などが話し合われました。

志鳥の笹崎さん・月次の福島さん・向田の根本さん 満100歳おめでとうになります。

新年を迎えた1月。長寿を祝い、市長が「100歳訪問」を行いましたので、今回、満100歳を迎えた3人をご紹介します。また、市内の100歳以上は、21人となりました(1月31日現在)。

5日(木)に誕生日を迎えたのは、志鳥の笹崎アサさん。長寿の秘訣は、「規則正しい生活」と「野菜を良く食べること」だそうです。現在でも庭の草むしりをするなど、元氣な生活を送っています。

「今では孫やひ孫が数えられませんが」とこやかに話す笹崎さん。広告で手作りのお年玉袋を作り、孫やひ孫にお年玉をあげたというエピソードも語ってくれました。

当日は、子どもたちの手によって45個の鉢植えが完成。毎年、参加しているという荒川小4年の関根愛菜さん(東原)は、「駅を利用するたくさんの人に、見てもらい、今日も頑張ろうと

いう気持ちになってほしい」と話していました。この鉢植えは、5月頃まで、大金駅、小埜駅、烏山駅に設置しています。



福島さん。

8日(日)には、月次の福島菊枝さんが満100歳を迎えました。32年前に東京都から越してきた福島さんは、現在、孫との二人暮らし。自分のことは自分でこなし、手先の器用さを生かして絹糸とビーズを使った日本刺繍やおりがみなどを趣味として楽しんでいきます。

そんな福島さんの長寿の秘訣は、「薬をなるべく飲まないこと」と話していました。

誕生日当日には、子や孫が集まり、「おめでとう」と声をかけると、「これからも長生きしたい」と笑顔で話していました。



根本さん。

おめでとう★

赤ちゃん名 (保護者)住所
 古澤 多(由崇・尚美)初音所
 小堀 有(輝・渉・友香)城東
 栗田 美(咲(大安・仁美)野上
 佐藤 愛(桜(豊・礼子)野上
 堀内 琥(珀(亮吾・愛美)野上
 小磯 茉音(美通伸・美紀)野上
 小口 愛(彩(和則・真美)興野
 森林 凜(花(弘幸・寿枝)中山
 青山 航(己(孝・麻実)大曲
 佐藤 杏(奈(貴大・有希)川畑
 菊池 速(学・有以)下川井

※ここでは、保護者等の了解が得られた情報のみを掲載しています。

スポーツの結果★

●第5回関東地区少年空手道選手権大会
 10月30日(日)アリーナたぬま
 「小学2年男子組手の部」▽優勝…五十嵐大夢(白雲空手道スポーツ少年団)



晴れの日…(成人式より)。

市営バス烏山高部線 車両をリニューアルしました!

市営バス「烏山高部線」の車両が平成28年12月25日(日)から新しくなりました。



「烏山高部線」は、平成7年に本市と常陸大宮市を結ぶ路線として開通し、車両の老朽化に伴い新車両で運行することになりました。なお、車両更新により「烏山高部線」と「市塙黒田烏山線」は同一型の車両となったため、ご利用の際には路線名をよく確認し、乗り間違いのないようにご注意ください。

「小学3・4年女子組手の部」▽第3位…五十嵐未来(白雲空手道スポーツ少年団)
 「中学生女子の部」▽第3位…田崎裕乃(南那須空手道スポーツ少年団)

●第35回関東・甲信越国際柔公道会空手道選手権大会
 11月13日(日)、古河市体育館
 「小学2年男子組手の部」▽準優勝…五十嵐大夢(白雲空手道スポーツ少年団)

●第10回北総警杯小年柔道学年別体重別選手権大会
 12月17日(日)、栃木県武道館
 「小学4年女子の部(45kg以下級)」▽第3位…高野由奈(習励館大橋道場)

ふるさと応援寄付金

・吉田賢二様(長崎県佐世保市)、高村隆様

(滋賀県東近江市)、小林拓様(長野県上田市)、高崎重幸様(千葉県佐倉市)、小池秀治様(岐阜県可児市)から1万円が本市に寄附されました。

・斎藤天津規様(埼玉県三郷市)、山口博之様(東京都国立市)から3万円が本市に寄附されました。

・田中博様(群馬県安中市)から5万円が本市に寄附されました。
 ・匿名希望者様112人から303万4352円が本市に寄附されました。

■市立図書館図書購入費寄付金
 ・南那須地区工業者懇話会(塩田信吾会)から3万3300円が本市に寄附されました。

編集後記

○毎月、最後のページに掲載している烏山高校の部活動紹介も11団体目となりました。取材にうかがうたびに、部活動を頑張る生徒のみならずとふれあい、フレッシュな気分になって自分のデスクに戻ります！
 ○今月号は、「バレーボール部」。実は、私も中・高とバレーボール部に所属し、現在もほそぼそと続けています。取材後、高校のバレー部時代の仲間との出合いや辛かった練習なんかを思い出したら自然と闘志が燃え、取材翌日にあった練習では、いつも以上にボールを追っている自分がいました。まるで、一大バレーボールブームを起こしたスポーツ漫画「アタックNo.1」の主人公のように…。
 ○その結果、ヒザには今まで見たことのないような特大のアザが…!!フレッシュな気分は1日にして痛みとの戦いへ。取材の裏側では、こんなこともあるのです…(笑)
 ○一方で、1月は、「成人式」(駅伝競走大会)といったイベントがありました。新成人のきらきらした笑顔、そして、駅伝大会では歯を食いしばり力走を見せる選手たち。取材をとおして元気をもらえた気がします!

Information





2017.1.1現在
()対前月比

人口 26,550(-19)

男 13,137 女 13,413

出生 14 死亡 37

転入 51 転出 47

世帯数 9,415

市の人口

※平成27年国勢調査を基に集計した統計人口です。

新着図書

南那須図書館 ☎0287-88-2748 Fax88-0204

烏山図書館 ☎0287-82-3062 Fax82-7566

★図書館HPから新着図書が検索できます。★
<http://www.lib-nasukarasuyama.jp/>

★一般図書★

『エンジニアを説明上手にする本』開米 瑞浩
『日本神さま事典』三橋 健
『いつかの夏』大崎 善生
『世界一うつくしい生物図鑑』クリストファー マーレー
『一緒に治せるめまいと頭痛』五島 史行
『平野レミのお勝手ごはん』平野 レミ
『勝ち続ける理由』原 晋
『扉のかたちをした闇』江國 香織
『三鬼』宮部 みゆき

★児童図書★
『江戸の町のサバイバル』大富寺 航
『ミラクルハッピーお仕事ずかんDX』ドリームワーク調査会
『のりものなんでもNo.1』いのうえ こーいち
『不可能とは、可能性だ』笹井 恵里子

『まんがでわかる日本の古典大事典』吉野 朋美
『おとのさま、スキーに行く』中川 ひろたか
『5秒後に意外な結末』桃戸 ハル
『こけしがこけて』新井 洋行

★DVD★
『エヴェレスト 神々の山嶺』平山 秀幸監督
『殿、利息でござる!』中村 義洋監督
『家族はつらいよ』山田 洋次監督
『藁の楯』三池 崇史監督
『華麗なるギャッツビー』バズ・ラーマン監督
『パニック・ルーム』デビット・フィンチャー監督
『ズートピア』バイロン・Howard監督
『パディントン』ポール・キング監督

作品集

毎月10日までに、総合政策課広報統計グループ
(〒321-0692 那須烏山市中央1丁目
1番1号)あて、郵送で作品をご応募ください。

元旦の空の色濃く青あおと吸い込まれそう
天に手を合わす 水上キヨ子(志 鳥)

知覧茶を飲めば俣ばる飛び征きし特攻隊の若
人たちを 吉澤 紅月(南)

道端の朝顔きれいだったよと種持ちかえる子
の気持ち嬉し 安藤 伯麗(旭)

懸命に働き続け子は育ち怖いものから親父は
消えぬ 鈴木 豊(谷浅見)

短歌

年寄りの歩幅に合わす湯の帰り 石川由美子(興 野)

父と母偲ぶ時あり掘炬燵 杉山幸栄子(ハケ代)

嬉しい日年に一度の初便り 須田 孝子(城 東)

蠟梅の香を貰う庭の隅 羽石 妙子(向 田)

川柳

湯たんぼがベッドの中ですやすやと 高徳 美井(大金)

寒鴉の居丈高なり善光寺 塩坂美枝子(南大和久)

山あげが世界に届き冬火花 平澤 房子(金 井)

冬の山始発電車の音ひびく 吉田喜枝子(興 野)

俳句

文芸コーナー★

齋藤 穂 選

ラジオ「なすから情報局」 絶賛放送中!

毎週火曜日に、レディオオベリー
(FM栃木)で那須烏山市のイベン
トやおススメスポットなどの情報
をお届けする「なすから情報局」を
放送しています。

ぜひ、お聞きください。

日時 毎週火曜日午後3時30分～

※約10分間

※番組の進行状況によって多少開
始時間が遅れる場合があります。

放送局 764 FM RADIO BERRY

また、放送内容は、後日、レディ
オベリーのホームページ内から確
認することができます。

■問合せ まちづくり課

☎0287-83-1151

■おわびと訂正…1月号7
ページ「新たな民生委員・児童
委員を紹介します」の記事で
「烏山地区落合の馬籠政光委
員」の電話番号に誤りがあり
ました。おわびし訂正いたし
ます。

誤 84-00045
正 84-00054

シリーズ 鳥山高校ってどんなところ？ 部活動を知ろう①

バレーボール部

広報「なすからすやま」では、鳥山高校の部活動で頑張る生徒を紹介します！



男子部長

2年 小野隼平さん(那珂川町)
顧問の先生や保護者、OB・OGの皆さんに感謝の気持ち
を忘れずに活動したいです！

女子部長

2年 金子萌花さん(野上)
応援してくれる人たちのた
めにも、悔いの残らないよう
に一生懸命頑張ります！

「何事にも全力で取り組む」「思いやりの心」をモットーに掲げるバレーボール部。部員、男子21人、女子11人で毎日元気に活動しています。
目標は、高校でバレーボールをやっていたら誰もが夢見る「春の高校バレー」全日本高等学校選手権大会通称「春高バレー」への出場です。春高バレー県最終予選へ出場するために、県ベスト8に入ることが条件。出場への切符をかけ、「県大会で1勝、2勝と勝ち進めるようにしたい」と語ってくれました。

新年を迎える元旦祭で 嵐山睦5年ぶりにみこし繰り出す

大晦日の12月31日(日)深夜から1月1日(月)にかけて、八雲商店会と嵐山睦による元旦祭が八雲通りの特設会場で行われました。5年ぶりとなったこの祭は、嵐山睦の発足25周年と、鳥山の山あげ行事がユネスコ無形文化遺産に登録されたことを記念し、開催されました。

当日は、嵐山睦の万灯みこしが県内外の担ぎ手によって約1時間担がれ、八雲通りを練り歩きました。

嵐山睦の大金康男会長は、「地域の皆さんのおかげで25周年を迎えられた。今年は、皆さんが健康で良い1年になってほしい。また、7月に行われる山あげの成功を祈りたい」と話していました。

その後、新年を迎えるカウントダウンが行われたほか、鏡割りや「がらまき」などが行われ、八雲通りは市民や初詣客などでにぎわいました。



会場内では、大勢の担ぎ手によって嵐山睦のみこしが担がれる。

有料広告

樹木葬「観音聖園」

宗旨・宗派不問 後継者不要

JR鳥山駅より徒歩7分 (駐車場完備)

那須烏山市金井1-5-11 観音寺内

1区画 40万円より

0120-00-8852